

ー介護に笑顔と安心を！ー

# 介護ウェーブ

2018

## 推進ニュース

いのち輝く未来に!!

2018年2月9日発行 NO.1



●畠野哲明さん（神奈川）  
公的責任であるはずの社会保障が縮小され、見せかけの帳尻合わせで利用者や家族に負担を押し付けています。社会保障全体を良くしていく運動を！



林泰則次長の学習会の様子を、  
YouTubeで観ることができます。  
<https://www.youtube.com/watch?v=3AiJFXN5Z1Y&feature=youtu.be>

## 17万筆の署名を提出

2月6日に中央社保協・全労連・全日本民医連は、三者共催で「介護署名提出2・6院内集会」を衆議院議員会館で行い、101人（民医連参加者66名）が参加しました。集会では、主催者あいさつと現場からの訴えの後、駆けつけた日本共産党の高橋千鶴子衆議院議員と倉林明子参議院議員に、17万1140名分の署名を手渡しました。民医連からは11万4665名分の署名を積み上げました。

集会では「どうなる介護？ー介護報酬2018年改定」と題して林泰則事務局次長より学習会の他、集会後には衆・参両院の厚労委員と参加者の地元国会議員を中心に議員要請を行いました。

## 長野 4名の議員と面談

長野県連からは6人（介護職3人、ケアマネ1人、事務1人）が参加しました。厚生労働委員と長野県出身の議員を中心に事前に陳情内容をファックスしたうえで、電話でアポイントを取って臨み、4人の議員本人と面談をおこないました（日本共産党の武田良介さん、井上哲士さん、倉林明子さん、民進党の伊藤孝恵さん）。

どの議員さんも現場の様子や事例について熱心に聞いてください、「自身も待機児童と祖父母の介護を抱えている」「介護改善に野党で協力していきたい」など実感も込めて介護は待ったなしの課題だということを受け止めてもらいました。「皆さんの生の声があつてこそ議員活動ができる」というお話もあり、こうして伝えていくことが大切であることも実感し、私たちのできることを続けていきたいと思いました。（長野県民医連事務局 河北邦雄）



●中野一仁さん（東京）  
2018年度の介護報酬改定では、介護従事者のすそ野を広げるために、中高年向けの入門研修の創設を予定しているとのことだが、本来やるべきことは若者たちに介護を目指せる仕組みを作ることです。大きな声を上げてともに頑張りましょう！



# 参加者の感想



宮城) 全国から17万筆の署名が寄せられたことは、小さな各地の頑張りが大きな力になることを改めて感じました！

宮城) 文書で困難事例を渡し、少しでも現場の声、利用者の声が届くように、署名も含めて様々な活動に取り組むことが重要だと感じています。

群馬) 場数を踏んで議員に言いたいことが100%伝えられるように今後もこのような機会があればぜひ参加したいです。

群馬) 毎回の行動では同じ議員のところに訪問させていただいていますが、顔を覚えてもらうことが今の目標です。自民党議員であってもいつかは懇談のテーブルにつけるよう、今後も参加させていただきたいと思っています。

埼玉) ほとんどが秘書対応であったが、陳情の内容を聞いて議員自ら出てきてくれて話をすることができ、理解をしてくれる議員がもっともっと国会で訴えて、民意を反映してもらいたい。

埼玉) 現場で働く職員が疲弊してしまっては質の良い十分な介護は提供できないと思います。利用者の生活を守るために、介護現場、介護制度をよりよくしていけるよう、これからもいろんな方に国会行動に参加してもらいたいです。

千葉) 直接現場の声を届ける大切さを学べてよかったです。自分たちの働く環境の改善、利用者さんが必要なサービスを受けられるよう、行動していくよう頑張っていこうと思います。

愛知) ほとんど秘書の方の対応でしたが、思っていたより話を聞いてくれました。また来たのか！と思われるくらいの方が要請としてはいいのかもしれないと思いました。

兵庫) 立憲民主党の議員秘書さんと30分ほど面談をしました。真摯に耳を傾けてくださって良かったです。



## 3月14日(水)は国会行動へ！

3月14日は国民運動部と合同で「3.14民医連国会集中行動」を参議院議員会館でおこないます。医療・介護現場の実態や患者・利用者・地域住民の声を持ち寄って、医療・介護の改悪を阻止するためにも全国から多数の参加をお願いします。

くわしくは2018年2月8日付の通達  
(全民医発(42)第ア-714号)をご確認ください。

介護署名のご協力ありがとうございました。3月の国会行動を最後の提出機会としますので、お手元にある署名は全日本民医連までお送りください。

2017年介護署名		2月8日現在	
県連名	2017 署名目標	達成率	2017実績 合計
北海道	9,500	38.9%	3,693
青森	4,000	84.1%	3,363
岩手	2,500	101.5%	2,538
宮城	5,000	32.5%	1,624
秋田	1,500	70.9%	1,063
山形	8,000	111.8%	8,945
福島	2,000	61.3%	1,225
茨城	1,000	0.0%	0
栃木	500	0.0%	0
群馬	3,000	30.6%	918
埼玉	7,500	46.7%	3,500
千葉	3,000	59.3%	1,780
東京	16,000	102.8%	16,453
神奈川	7,500	54.5%	4,089
新潟	2,000	92.4%	1,848
富山	1,500	33.6%	504
石川	1,500	49.2%	738
福井	3,000	55.3%	1,660
山梨	4,000	47.9%	1,915
長野	5,500	86.3%	4,745
岐阜	4,500	56.5%	2,544
静岡	4,000	0.0%	0
愛知	4,000	99.2%	3,967
三重	2,000	0.0%	0
滋賀	1,500	98.5%	1,478
京都	9,000	45.9%	4,129
大阪	16,000	68.8%	11,015
兵庫	6,500	57.1%	3,713
奈良	5,000	47.6%	2,381
和歌山	2,000	38.9%	777
鳥取	2,000	37.5%	750
島根	2,000	100.5%	2,010
岡山	6,000	68.2%	4,094
広島	8,000	15.5%	1,239
山口	1,000	48.0%	480
徳島	2,000	72.6%	1,452
香川	2,000	27.5%	550
愛媛	4,000	54.9%	2,195
高知	3,000	69.1%	2,072
福岡・佐賀	13,000	69.6%	9,043
長崎	3,000	82.5%	2,476
熊本	1,500	97.3%	1,460
大分	500	21.4%	107
宮崎	2,000	90.3%	1,806
鹿児島	4,000	22.4%	896
沖縄	2,500	98.1%	2,453
全日本	500	272.8%	1,364
合計	200,000	62.5%	125,052

★「介護ウェーブ推進本部」 各県の取り組みをぜひ事務局までお送りください！

事務局：小又・東

E-mail : min-kaigo@min-iren.gr.jp